

公開シンポジウム

「歴史認識と植民地責任」

主催：日本学術会議（「アジア研究・対アジア関係に関する分科会」）

アジアをはじめ様々な地域で問い直されている「歴史認識」問題は、広い世界史的
文脈に位置づけ、学術的知見を活かして、客観的に検討・議論すべき問題ではないで
しょうか？

本シンポジウムは、戦争や植民地支配の責任、「記憶」、歴史認識・歴史意識の形成
というテーマが持つ普遍性、グローバルな広がりに着目し、多角的議論を行なうこと
を通じ、問題の本質に迫ります。

日 時：2020年3月15日（日）13：30～17：30（13：00 開場）。

場 所：東京大学（本郷キャンパス）法文2号館1番大教室

《プログラム》

13：30 開会挨拶：吉澤誠一郎（日本学術会議連携会員、東京大学文学部教授）

13：50 報告1：朝鮮近代史研究の立場から

慎蒼宇（法政大学教授）

14：30 報告2：戦争責任・アジアにおける戦後補償問題の角度から

内海愛子（恵泉女学園大学名誉教授）

15：10 報告3：世界史的視角——植民地責任と帝国の「記憶」、歴史意識のあり方

井野瀬久美恵（日本学術会議連携会員、甲南大学教授）

15：50－16：00（ 休憩 ）

16：00 パネルディスカッション・総合討論

（司会）久保亨（日本学術会議連携会員、信州大学特任教授）／

栗田禎子（日本学術会議会員、千葉大学文学部教授）

17：30 閉会挨拶：久保亨

【主催】日本学術会議

（言語・文学委員会・哲学委員会・史学委員会・地域研究委員会合同
「アジア研究・対アジア関係に関する分科会」）